

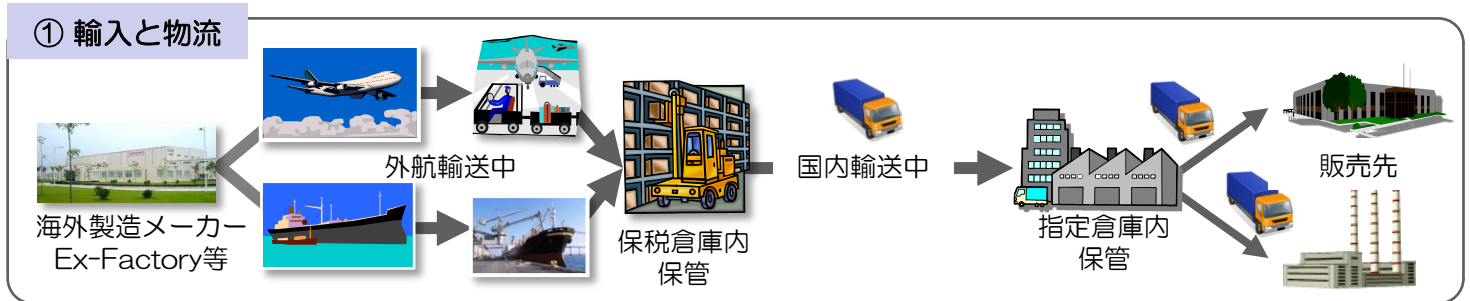
コスト削減！！

物流コストを見直しませんか？

オバマ大統領の経済・雇用政策への信頼低下から、企業を取り巻く世界経済環境がなかなか好転せず、日本でも日銀や政府からデフレスパイラルを心配した発言やら、経済評論家からは株価の低迷と円高で、これから夏にかけて2番底が来るとかと言われるような状況の下、民主党政権で衆人環視の中で初めて行われた「事業仕分け」作業のように、企業におかれても聖域なしコストカット（削減）の努力をされておられることと存じます。そこで今回は、コストカットの効果が大きいと思われる「物流に関するリスクと保険」に焦点を当ててみました。

昨今のジャスト・イン・タイム物流の普及、サプライチェーンマネジメントの進展、保管・加工のアウトソーシング化、など企業経営における物流革新が急速に進んでいます。このように物流リスクの多様化が進んでいる状況下では、物流に関するリスクマネジメントの重要性がますます認識されつつあるかと存じます。

皆様方の企業の物流実態・フローの正確な把握とそれに対応した総合的な「物流に関する保険プログラム」を下記のチェックポイントを参考に再構築されては如何でしょうか・・・。



●通関業者・営業倉庫に付保依頼
火災・落雷・破裂・爆発ベースの火災保険

●倉庫寄託約款：
（第35条/賠償事由・挙証責任 第36条/免責事由）故意および重過失のみ。挙証責任は賠償請求者。
地震・大水・暴風雨・強盗等

●運送業者賠償責任保険
1事故あたりのてん補限度額不足

●標準貨物自動車運送約款
（第44条 免責事由 第45条 高価品の特則）
不可抗力による火災・地震・大水・暴風雨等
貨物の種類・価額を申告しなければ賠償義務なし

●自社社有車による輸送中の事故

＜現行保険証券の見直し＞

- 保険成績・リスクに見合った条件・料率となっているか。
- 物流段階による適切な保険金額の設定がされているか。
- 保管場所のてん補限度額を定期的に見直しているか。

＜保険事故処理とリスクマネジメント＞

- 保険事故処理に係る事務処理に手間がかかっていないか。
- クレーム分析に関する十分な資料提供を受けているか。
- 損害防止対策に関する事故減減アドバイスがあるか。
- リスクの保有と保険転嫁のバランス（小額・多頻度のクレーム処理）がとれているか。

現在の保険条件で問題はありませんか？

業者に任せている保険で問題はありませんか？

② グローバル物流対応 【Global Stock Throughput Policyの導入】

貴社の国内外のグループの流動資産すべて（材料/仕掛品/商品など）の保管/加工/輸送リスクを国内外を問わず、最終目的地である顧客搬入まで全て同一条件にてカバーするものです。このようにすれば、別途手配が必要だった地震リスクや事業中断による利益損害も含めることができます。

＜メリット＞

1. 保険料の算出方法をシップメントベースから売上高ベースに変更
2. 全世界一括交渉による保険料コストの圧縮
3. 契約内容の一元管理
4. 日常の事務/管理工数削減
5. 付保漏れ/二重付保/条件差の解消

物流に関するリスクと保険コストを全面的に見直して企業価値の向上に結び付けましょう。

【ニュースに関するお問い合わせ先】

銀泉リスクソリューションズ(株) E-mail/ solutions@ginsen-risk.com

〒102-0074 東京都千代田区九段南3-9-14 TEL03-5226-2301 FAX03-5226-2609